

大道中学校だより 9月号

平成 30 年 9 月 14 日

校長 永山泰士

TEL 781-2457 FAX 783-9719

芸術の秋！読書の秋！感性を磨く！

校長 永山 泰士

ひと雨ごとに風が涼しくなっていますが、この夏は日本中至る所で災害があり、自然の脅威を感じています。「いづどこでも起こりうる」から「いづもどこかで被害が起きている」日本列島です。備えをしっかりとしたいものです。

今年の夏も大道中学校の生徒たちが地域で大変お世話になりました。夏祭りでのバトン部出演（湘南八景自治会）や美術部（高舟台自治会）と男子バレーボール部（大道町内会）による御神輿担ぎでは、地域の皆さまにも大変喜んでいただきました。温かな励ましの言葉をたくさんいただき、生徒たちも張り切って最高のパフォーマンスを見せていました。「地域とともに歩む学校」をめざしている大道中学校として、大変有意義なことであったと考えています。これからも大道中学校の生徒たちへの見守り、声かけ、ご指導をよろしくお願いいたします。

さて、夏休みが明けて2週間が経ち、前期期末テストが終わりました。いよいよ合唱コンクールへの取組の始まりです。部活動は、夏を境に3年生から2年生への代替わりが行われ、新チームでの新人戦や発表会への取組も始まっています。「頑張れ！大中生！」保護者、地域の皆さまにはこれからもご支援よろしくお願いいたします。

秋と言えば、スポーツの秋、勉強の秋、食欲の秋、芸術の秋、読書の秋といろいろと言われます。「○○の秋」とつければ、何でも成立してしまいそうです。私見ですが、暑い夏が過ぎ、涼しくなっていくことで、私たちの内面に「活動への意欲」が高まっていくからだと思います。

先日、私は横須賀美術館（観音崎）に行きました。中園孔二展（9月30日まで開催）を観るためです。中園氏は大道中学校出身（平成16年度卒）です。神秘的な作品の一つひとつが私に言葉にできない感動をもたらしました。2Fにある情報コーナーでは、中園氏のインタビューのVTRが上映されていました。大道中時代はバスケットボール部員だったと校長室を訪問してくれたお母様がおっしゃっていました。芸術の秋です。光輝く海に面した横須賀美術館はとてもすてきなところですよ。中園孔二展に一度訪れてみてはいかがでしょうか。なお、本校図書室にも中園氏の画集が置いてあります。

話は変わりますが、私はいつの頃からか読書が好きになりました。読書は「想像」と「思考」をもたらせます。読書は自分の限られた経験を補完し人を豊かにします。

20年前にインドで開かれた国際児童図書評議会世界大会で皇后美智子さまがビデオ講演で語った言葉に私は深く静かに心が動かされました。

「読書は、人生の全てが、決して単純でないことを教えてくれました。私たちは、複雑さに耐えて生きていかなければならないということ」。「人の思いや立場が交錯する中、複雑さにたじろぎ呑み込んだ息は、それに耐えうる知的な肺活量を鍛えもする。とくに幼児の読書は、人生の『根っこ』と想像の『翼』と『痛みを伴う愛』を育む。【「美智子」の名で刊行された『橋をかける』から】（朝日新聞 2018/8/28 折々のことば 鷲田清一より引用）

「芸術の秋」「読書の秋」、「感性を磨く」季節の到来です。